

第31回関西障がい学生支援担当者懇談会（2023年9月13日開催）

【アンケート集計結果】

1～4はKSSK開催前の申込時にアンケートを実施（出席人数55名※うち分科会出席者54名）、5～10はKSSK開催後にアンケートを実施（回答人数34名※回収率61.2％）

1 - 1 所属大学

大学コンソーシアム京都加盟大学

大学名	人数
京都大学	2
京都工芸繊維大学	1
京都府立大学	1
大谷大学	3
京都外国語大学	3
京都華頂大学	2
京都女子大学	1
京都精華大学	3
京都芸術大学	1
京都橘大学	4
同志社大学	4
同志社女子大学	1
佛教大学	3
立命館大学	1
合計	30

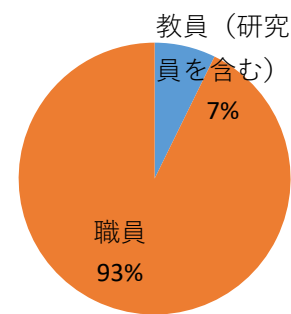
大学コンソーシア京都非加盟大学

大学名	人数
愛知大学	1
長浜バイオ大学	1
滋賀文教短期大学	1
大阪大学	2
大阪公立大学	3
桃山学院大学	4
阪南大学	1
四天王寺大学	1
大阪産業大学	1
大阪人間科学大学	1
神戸大学	1
関西学院大学	2
神戸松蔭女子学院大学	2
武庫川女子大学	1
神戸女子大学	2
奈良学園大学	1
合計	25

1 - 2 区分

No	選択肢	人数	%
1	教員（研究員を含む）	4	7.3
2	職員	51	92.7
	合計	55	100.0

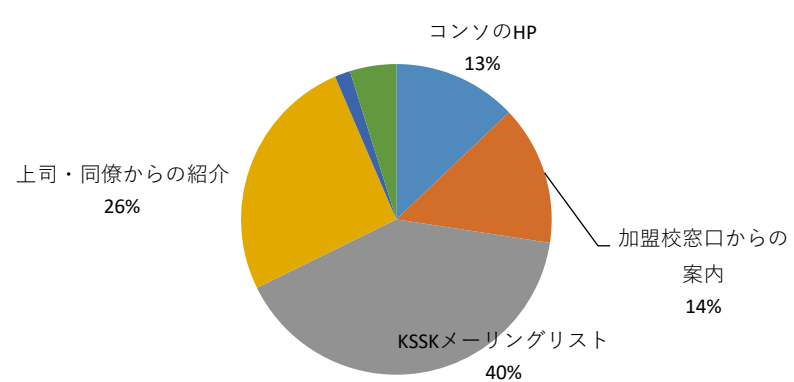
1 - 2 区分



2. 今回の講座をどこで（何で）知りましたか？（複数回答可）

No	選択肢	人数	%
1	大学コンソーシアム京都のホームページ	8	12.9
2	加盟校窓口担当者からの案内	9	14.5
3	KSSKメーリングリスト	25	40.3
4	上司・同僚からの紹介	16	25.8
5	知り合いからの紹介	1	1.6
6	その他	3	4.8
	合計	62	100.0

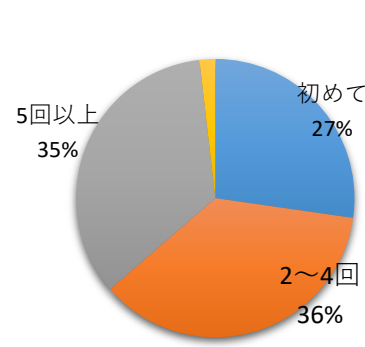
2. 今回の講座をどこで（何で）知りましたか？



3. K S S Kは何回目の参加でしたか？

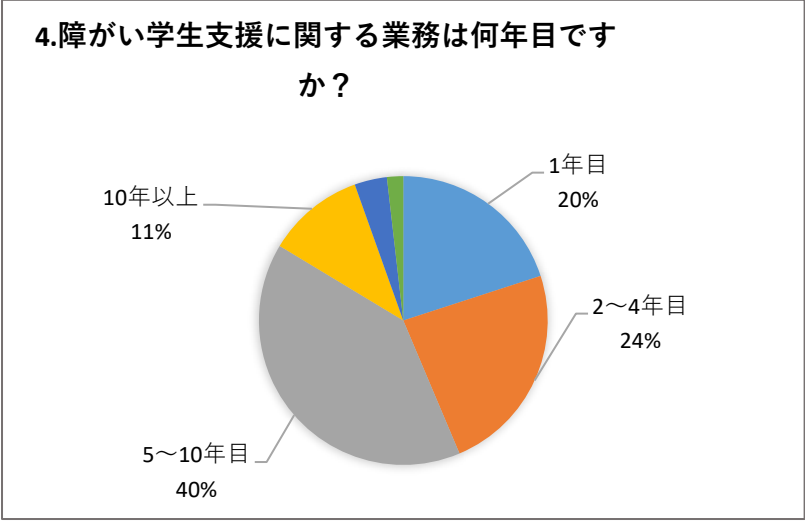
No	選択肢	人数	%
1	初めて	15	27.3
2	2～4回	20	36.4
3	5回以上	19	34.5
4	無回答	1	1.8
	合計	55	100.0

3. KSSKは何回目の参加でしたか？



4. 障がい学生支援に関する業務経験は何年目ですか？

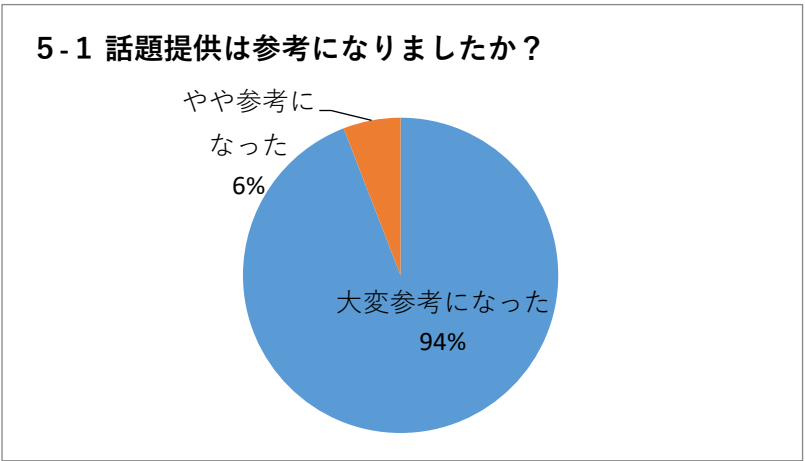
No	選択肢	人数	%
1	1年目	11	20.0
2	2～4年	13	23.6
3	5～10年未満	22	40.0
4	10年以上	6	10.9
5	経験なし	2	3.6
6	無回答	1	1.8
合計		55	100.0



5. 話題提供について

5-1 話題提供は参考になりましたか？

No	選択肢	人数	%
1	大変参考になった	32	94.1
2	やや参考になった	2	5.9
3	どちらでもない	0	0.0
4	あまり参考にならなかった	0	0.0
5	まったく参考にならなかった	0	0.0
合計		34	100.0



5-2 上記5-1の回答を選択された理由をご記入ください。（記述内容一部抜粋）

No	回答内容	理由
1	大変参考になった	本学でも災害対策を課題としており、その参考になったから。
2	大変参考になった	今まで、学内で考えることができていなかったテーマでしたが、必要性の高いものでとてもありがたかったです。
3	大変参考になった	東日本大震災時の障害者手帳保持者の被災数が多く、やはり緊急時の避難対応の重要性を感じました。最後にお話しされていた、避難シュミレーションで、アイマスクや車椅子等をしての訓練が大変参考になりました。フェーズについて意識をしながら学内での研修等に反映できたらと思いました。
4	大変参考になった	災害時の支援について、事前の準備が相当必要になることが理解できました。
5	大変参考になった	防災（避難訓練）の企画を行う前だったので大変ためになりました。ありがとうございました。
6	大変参考になった	いつか、ではなく、今準備をしておかないといけない現状が明確にわかったから。
7	大変参考になった	まだ日々の障がい学生支援のことで精一杯で、そこまで全く気が回っていなかったの。
8	大変参考になった	コロナ前まではパターン化された防災訓練は実施していましたが、障がい者の視線を持ち疑似体験する訓練は必要だと思いました。できるところから楽しく参加できる防災ついて考えたいと思います。
9	大変参考になった	秋学期以降、実際に災害対策の実践を検討しておりましたため、非常に参考になりました。また、訓練を行う際に、訓練自体より時間を多くとり参加者で振り返りを行うことの大切さをお聞きできたので、実際の訓練にも活かしていきたいと思います。
10	大変参考になった	本学は、バリアフリーマップなどがなく、学内の全体の災害マニュアルもしっかりしたものがない状況で、災害時の対応については課題と考えていたので大変参考になりました。
11	大変参考になった	障害学生の災害支援についてまで思いが至っていなかったので、大変貴重な機会となった。できることから、始めて行こうと思いました。
12	やや参考になった	災害時対策という視点での検討が必要だと理解できた
13	大変参考になった	大学という枠を超えて、地域に暮らす避難困難者への対応が必要であり、これは自治体の理解や協力が不可欠であると同時に、日常的に、障がい等のある人が避難することを想定した訓練等を行うことで、「いろんな人」が避難することが意識できるようになり、有事の際の広い協力につながり、その日常化への素地作りが重要であると感じた。
14	大変参考になった	災害時対応のことに非常に関心があります。障害の有無に関わらず被災することになりますので、まずは（一個人として）身の安全を確保することはもちろん、（支援者として）障害のある学生の避難・被災のことも想定しておきたいと常々思っています。本人と一緒に避難プランを考えたり、周囲にどのように伝えるかなどを考えることはもちろんですし、他の視点も多くもらいたいと思っていたところで、大変参考になり、もっとたくさんお聞きしたいと思いました。ありがとうございました。
15	大変参考になった	正直なところ、災害時の対応について私自身危機感を持って考えておらず、大学の対応としてもまだまだ準備不足だと気づくことができたため
16	大変参考になった	障害学生の防災について考えることは、大学全体の防災についても改めて見直す機会となると思った。
17	大変参考になった	障害のある学生の災害時の対策について、考えるきっかけになった。合理的配慮を進めるにあたり「いつも」と「もしも」を考えるという考え方が、大変勉強になった。
18	大変参考になった	災害マニュアルはあっても個別具体的な避難計画がないから
19	大変参考になった	大変重要なテーマでした。早速に、学内の構造・資源・対応マニュアルを確認しました。お話の中でご紹介いただいたものも参考にさせていただきながら、改善していかねば、と、強く思いました。
20	大変参考になった	大学全体で年1回防災訓練を実施しますが、障がい学生に特化したシュミレーションや訓練は行っていません。災害対応の具体的なポイントやスタンダードについてお話を伺い、大学内で対策を再構築し共通認識を持つ必要性を感じました。また、関わっている障がい学生・サポート学生たちとともにワークショップを開くなど、災害時の対応について考える機会を持ちたいと思いました。ご紹介いただいた資料も活用させていただきます。

6. 分科会について

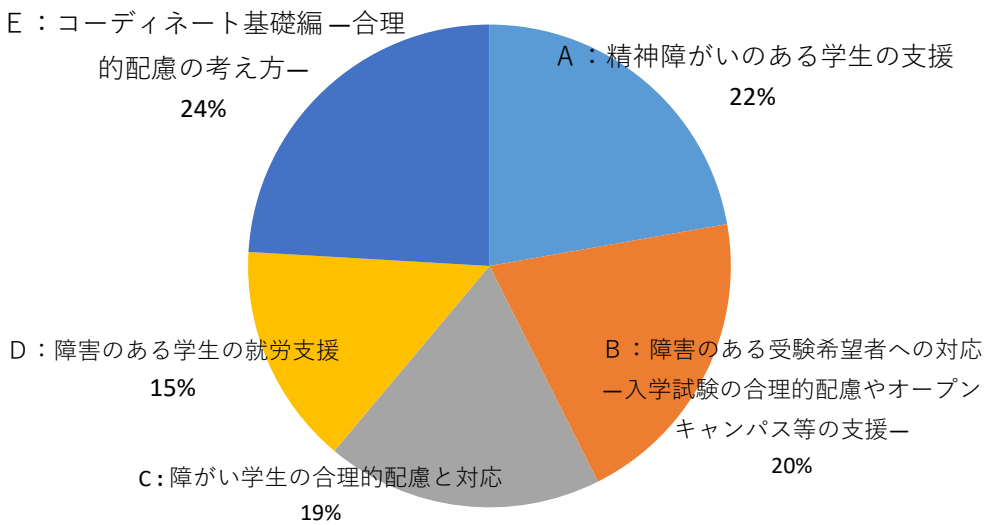
6-1 参加分科会（アンケートではなく受付名簿より算出）

No	選択肢	人数	%
1	A：精神障がいのある学生の支援	12	22.2
2	B：身体障がいのある学生の支援	11	20.4
3	C：支援体制・システムを考える	10	18.5
4	D：障害のある学生の就労支援	8	14.8
5	E：コーディネート基礎編－合理的配慮の考え方－	13	24.1
合計		54	100.0

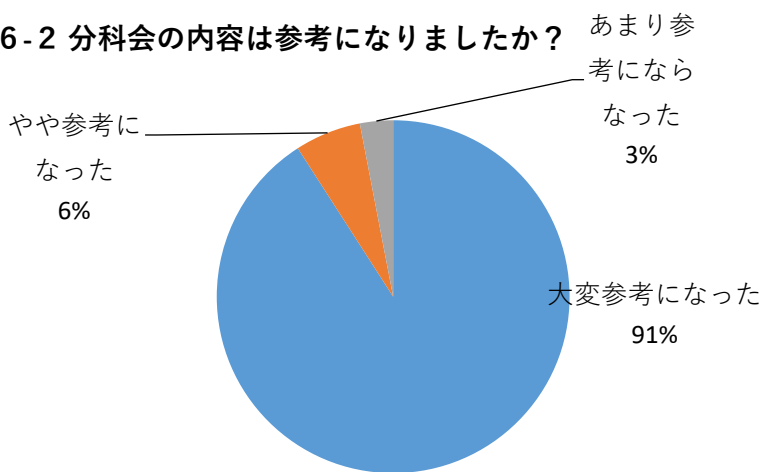
6-2 分科会の内容は参考になりましたか？

No	選択肢	人数	%
1	大変参考になった	30	90.9
2	やや参考になった	2	6.1
3	どちらでもない	0	0.0
4	あまり参考にならなかった	1	0.0
5	まったく参考にならなかった	0	0.0
合計		33	100.0

6-1 参加分科会



6-2 分科会の内容は参考になりましたか？



6-3 上記6-2の回答を選択された理由をご記入ください。

◆『A：精神障がいのある学生の支援』（記述内容一部抜粋）

No	回答	記述
1	大変参考になった	他の大学の整備されている事例や、「こういうふうに考えてみたら？」という先生方のご意見がとても参考になりました。経験年数の浅い自分にとっては、障害学生支援の辞書を1ページずつ読んでいるかのようで、どのテーマ、話題も非常に勉強になり、あと数時間くらいは、皆様の事例についてお話を伺いたと思いました。
2	大変参考になった	他大学が実際に実施している工夫点や対応のポイントを教えてもらったため
3	大変参考になった	多くの意見交換ができたため
4	大変参考になった	自分で質問をするというよりは、（大変恐縮ではあったのですが）「本学ではこうしています」という情報提供をすることが多かったので、どなたかの何か少しでも参考になっていれば良かったと思うばかりです。 また、"障害学生支援"としてお聞きするには、私の想定及ばないケース（宗教二世・OD・依存など）の対応を日々しておられるお話をお聞きしたことが非常に印象的でした。社会資源を十分に知っていないと対応できないこともあるだろうとご想像しましたし、一方で"障害学生支援"としての職域（職域って何か、という話にもなりそうですが…）を超えているのではないかと感じながら、自分ならどのように対応するか、もし目の前の学生なら、と考えながらお聞きしていました。
5	大変参考になった	活発に意見交換される場に参加することで、他大学の方々の考え方や対応に触れ、自分自身や自大学の課題に気づくことができたため
6	大変参考になった	司会者の先生が限られた時間の中で、できるだけ多くの参加者の声を拾うようにして下さったので、多くの大学の状況や実践智を教えていただくことができた。

◆『B：身体障がいのある学生の支援』（記述内容一部抜粋）

No	回答	記述
1	大変参考になった	重度訪問介護利用者等大学支援事業について、京都市外の対応について資料もいただき、市町村でも大きな違いがあると感じました。キャリアに関することについては、普段キャリア担当部署に任せてしまっている部分があるため、重度障害の学生に特化したキャリア支援について情報交換ができたので大変参考となりました。コーディネーターとして、様々なリソースを案内できるように日々情報収集に努めたいと思います。
2	大変参考になった	本学ではあまり経験やノウハウが蓄積されていないため、他大学の現在の課題をお聞きして、今後出てくる可能性のある問題を予防的に考えることができました。
3	大変参考になった	色々な情報提供をしていただきとても貴重な時間でした。
4	大変参考になった	合理的配慮の判断に迷う事例や教員との関わり方など、支援者それぞれの考え方や視野に入れておくべきポイント、情報収集のための動き方などを伺い、とても勉強になりました。
4	大変参考になった	分科会では、経験豊富な皆様を交えて様々な事例からご質問にお答えいただくことができたことが、非常に学び多い時間となりました。また、2時間半というお時間も非常にゆっくりと情報共有するには良い時間の長さであったように思いました。
4	大変参考になった	これからどの大学も待ったなしで迫られていく課題だと思います。現在各大学の現状と取り組みについて参考になりました。
5	大変参考になった	身体障害学生の対応について、具体的な他大学の事例を共有いただきとても参考になりました。

◆『C：支援体制・システムを考える』（記述内容一部抜粋）

No	回答	記述
1	大変参考になった	問題の解決策が見えた。
2	大変参考になった	他大学の取り組みや現状を知れたため
3	大変参考になった	他大学の状況などを伺い、自校の課題について整理することができた。
4	大変参考になった	支援体制について、他大学の取り組みについて知ることができた。村田先生から重要なエッセンスをたくさんご教示いただいた。
5	大変参考になった	他大学の様々な体制を聞くことができたため
6	大変参考になった	他大学の状況を知ることができたため。また、本学の課題を整理することができたため。

◆『D：障害のある学生の就労支援』（記述内容一部抜粋）

No	回答	記述
1	大変参考になった	違う職種の方々とディスカッションができた。他大学の取り組みが参考になった。
2	大変参考になった	学内での支援の連携の大切さを理解できた。
3	大変参考になった	本学に就業して3年目で、学内全体や各所管の体制について徐々にわかってきたところですが、今回参加大学の方々の多面的な視点でのお話を伺い、障がい学生の就労支援への取り組みが本学ではまだまだ整っていないと感じました。その反面、キャリアセンターとの連携、全学的な取り組みなど、これから本学でもできることがあると思えました。

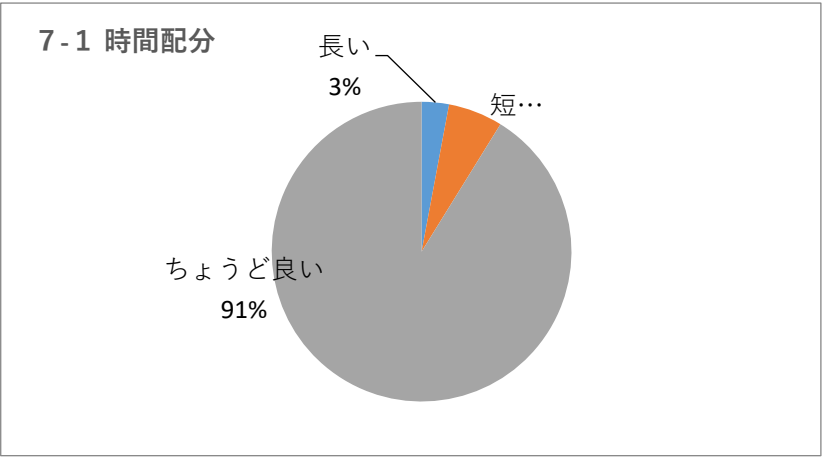
◆『E：コーディネート基礎編 ―合理的配慮の考え方―』（記述内容一部抜粋）

No	回答	記述
1	あまり参考にならなかった	もう少し系統だてて基礎的な部分についてご教示いただけるのかと思っていましたが、困り感の共有の方に比重が高かった気がします。期待していたものとは違いました。
2	大変参考になった	事前質問に基づいて解説や意見交換されたことで、改めてコーディネート業務の基本理解が確認できました。義務化に向けても、課題点を一定整理できました。参加校の規模や担当者の習熟度に関わらず、意見や質問を出しやすい雰囲気です。運営していただき改めて感謝いたします。
3	大変参考になった	様々な大学の担当者みなさまと意見交換することができ、悩みや困難さ、思いを共有することができた。同じように日々奮闘する、皆様の存在がとても力になった。合理的配慮の考え方や、そもそもコーディネートとはという話題に対し、本来ならあまり口にするこでないようなこともぶっちゃけて話すことができ、「懇談会」という名称にふさわしい雰囲気で意見交換をすることができた。
4	大変参考になった	具体的な内容が多くイメージしやすかった
5	大変参考になった	他大学の方との意見交換や、様々な事例など、参考になることばかりだった。
6	大変参考になった	学生支援室としての準備が整っていないのが現状であり、他大学の情報をお聞きすることすべてがこれからの資料になると感じております。ありがとうございました。

7. 懇談会全体について

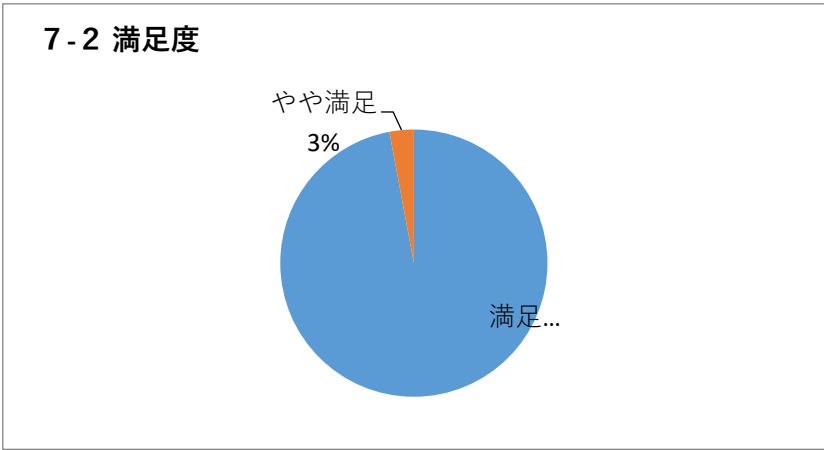
7-1 時間配分

No	選択肢	人数	%
1	長い	1	2.9
2	短い（話題提供の部分でももう少し時間があればよかった）	2	5.9
3	ちょうど良い	31	91.2
4	その他	0	0.0
5	無回答	0	0.0
合計		34	100.0



7-2 満足度

No	選択肢	人数	%
1	満足	33	97.1
2	やや満足	1	2.9
3	どちらでもない	0	0.0
4	やや不満	0	0.0
5	不満	0	0.0
合計		34	100.0



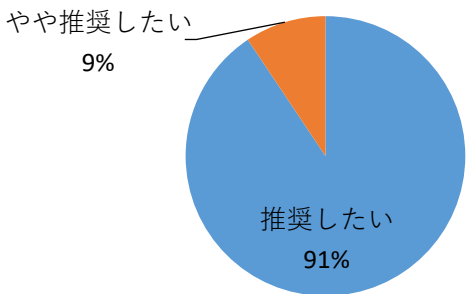
7-3 上記7-2の回答を選択された理由をご記入ください。（記述内容一部抜粋）

No	回答	記述
1	満足	今回AHEAD JAPANの開催と日程が近かったため、その時にお会いしたコーディネーターの方々とお話をさせていただくことができました。開催時期がとても良かったです。（半年に一度だと、顔を忘れてしまうこともあるかと思ったりしました。）
2	満足	いつも話題提供の内容が、とても参考になっております。また、資料や最新の情報についても共有いただけるのもありがたいです。近隣の大学との情報共有の貴重な機会をありがとうございます。
3	満足	普段交流できる機会がないため、KSSKに参加できることは大変貴重であると考えています。
4	満足	とても有意義だった。
5	満足	今回、参加が私一人だったため、部内で情報共有させていただこうと思いました。
6	満足	KSSKの目的であるネットワークづくりができたから。
7	やや満足	横のつながりができるのは良いことだと思います。
8	満足	身体障がい受け入れにかかる準備や環境整備等、学内の連携や働きかけなどを教えていただき有意義な意見交換となりました。
9	満足	学外の情報を知り視点が増やせることと、ホットなテーマに対して、時間をかけて皆さんと話題を深めることができる機会は貴重であるため。
10	満足	いつもここでいろいろ考えるきっかけをもらっています。
11	満足	講演と分科会の2部構成になっており、有意義な時間が過ごせたため。
12	満足	とても和やかかつ活気のある雰囲気で、皆さん意欲的にお仕事をされているのが伝わってきて、励みになった。
13	満足	KSSKでしか聞けない話が聞けたため
14	満足	分科会が有意義だった
15	満足	ざくばらんに話ができる数少ない場なので
16	満足	毎回何らかの発見や出会いがあるため
17	満足	いつも本当にお世話になっております。この懇談会を通してできた縁やつながりから、日々の活力が生まれています。近くの大学で、同じように奮闘する皆さまがいることが何よりも心強いです。このような素晴らしい機会を作っていただき、本当にありがとうございます。
18	満足	対面でたくさんの方とお会いして直接お話をお聞きできたことが、やはり何よりの満足につながりました。ありがとうございます。
19	満足	私自身まだまだ議題についていくことが難しい状況だが、参加者の発言や表情を拝見しながら共通の困り感や課題についてお聞きできる貴重な場だと感じているため
20	満足	それぞれの大学の事情を持ち寄りながら、全体でよりよい障害学生支援の大学環境を作っていこうという雰囲気があって、エンパワーされる。
21	満足	横の繋がりを持てる貴重な機会で、学びの多い時間でした。
22	満足	他大学の方との繋がりをいただけることを大切にしていきたいです。
23	満足	話題提供・分科会それぞれで、自大学・自分自身を振り返ると同時に、これからの指針へのヒントをいただきました。
24	満足	初めて参加させていただきました。他大学の方とお話ができ繋がりができて良かったため。

7-4 他者への推奨

	選択肢	人数	%
1	推奨したい	29	85.3
2	やや推奨したい	3	8.8
3	どちらでもない	1	2.9
4	あまり推奨したくない	1	2.9
5	推奨したくない	0	0.0
6	やや推奨したい	0	0.0
合計		34	100.0

7-4 他者への推奨



8. 今後、懇談会で取り上げてほしいテーマ、内容等があればご記入ください。（記述内容一部抜粋）

No	内容
1	次回は、可能であれば発達障がいのある学生支援について伺いたと思います。（1回目基礎編、今回は2回目で精神障害のある学生支援の分科会に参加しました。）
2	似た大学の規模ごとに集まって話ができる機会があれば嬉しいです。
3	今回の問題を継続して取り上げてほしい。
4	立場（現場/職員/教員）別合理的配慮の考え方
5	教員と合理的配慮の共通認識を持ち理解を深めるための取り組みと、留学生対応。
6	重度身体障害者のキャリア支援
7	今回も最後に少し紹介されていた、オンライン授業をどう考えて、これからどのようにしていけばいいのか
8	高大接続・連携、障害学生支援としてのメディア授業の考え方や注意点、教育以外の生活支援について
9	アセスメントの方法や工夫していることについて、支援者で意見交換を行いたい。
10	障害のある学生の就労支援の具体的事例
11	改正障害者差別解消法施工による私立大学がすべきこと
12	義務化に向けた体制整備、また「第三次まとめ」の動向など最新の状況を踏まえて、現場での課題等を持ち寄って相談できる場があれば有難いです。
13	発達障がいや精神障がいの場合、連絡が取れなくなることや本人の困り感・意思の確認について
14	障がい学生の自主性を育てる取り組みについて一特に1年生は生活環境が大きく変化するため、自己の障がいや特性以外でのつまづきや困りごとが発生すると思われます。それらと向き合い克服し、成長していけるための支援の方法について伺いたいです。